

東日本大震災復興支援
第67回国民体育大会 バasketボール競技

MATCH No. 1A3

開催場所: 飛騨高山ビッグアリーナ
試合区分: 成年男子準々決勝
開催期日: 2012年10月1日 (月)
開始時間: 15:15

主審: 加藤 昌樹
副審: 坂井 元直



Team A	●	20 -1st- 19 14 -2nd- 15 20 -3rd- 15 12 -4th- 26	○	Team B
東京	66	75	岐阜	

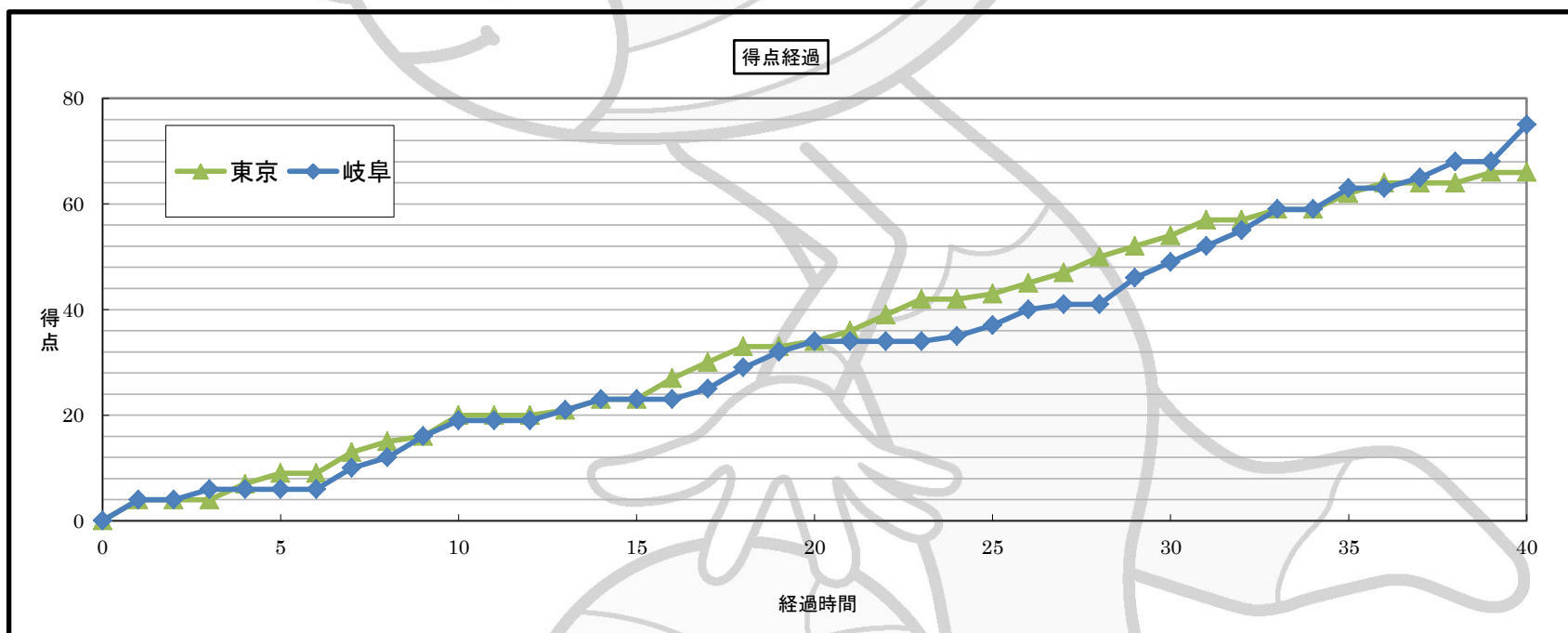
TEAM A		東京							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4		宮田 諭	-	-	-	-	-	-	-
5	*	齋藤 豊	12	1	3	3	4	7	1
6		山田 純也	0	0	0	0	0	0	0
7	*	鈴木 伸之(C)	7	2	0	1	4	4	1
8	*	福田 大佑	11	0	4	3	3	0	0
9		福田 侑介	5	0	2	1	2	2	0
10	*	山本 修二	1	0	0	1	3	2	1
11		岩下 達郎	2	0	1	0	2	4	0
12	*	小林 純也	9	1	2	2	4	4	0
13		宇田川 一馬	11	0	2	7	3	4	0
14		森川 純平	8	2	1	0	1	3	0
Coach		茂木 芳治					0		
TOTAL			66	6	15	18	26	30	3

TEAM B		岐阜							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4		田中 昌寛(C)	4	1	0	1	4	2	0
5		梶本 健一	8	0	3	2	1	3	1
6	*	杉本 慎太郎	2	0	1	0	4	4	1
7		前村 雄大	2	0	1	0	0	0	3
8		福手 登成	-	-	-	-	-	-	-
9	*	足立 尚也	13	2	2	3	2	3	0
10	*	熊澤 恭平	15	2	2	5	2	6	4
11	*	神津 祥平	6	0	2	2	3	1	1
12		三浦 正和	6	0	3	0	4	1	2
13	*	坂本 健	12	0	3	6	2	6	0
14		山田 哲也	7	1	1	2	3	4	0
Coach		田中 良夫					0		
TOTAL			75	6	18	21	25	30	12

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q			OT1	OT2
	19:28	-	31:49	37:42	39:31		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q			OT1	OT2
	16:27	19:11	24:41	-	-		

*:スターター (C):キャプテン PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル R:リバウンド A:アシスト



東京オールコートマンツ、岐阜ハーフマンツでスタート。東京が#8のジャンプシュート、#5のポストプレーで得点すれば、岐阜も#11、#13のポストプレーで応戦。東京が#12の3Pやフリースローで引き離すかには見えたが、岐阜も#9がカットイン、#11、#12のゴール下で粘り、1Qは20-19と東京リードで終了。
2Q、両チームともシュートが入らず膠着状態が続いたが、東京#8の速攻でゲームが動き出す。東京が#5のカットインや#14の連続3Pで30-23となり、岐阜はたまたまタイムアウト。ここから岐阜はディフェンスを変化させて相手のミスを誘い、34-34の同点として前半終了。
3Q、東京は#5が3Pを含めて8連続得点で勢いに乗る。岐阜は開始2分でチームファウルが4つになり、苦しい展開。残り2分で50-41と9点差がついたが、ここから岐阜は#7の速攻や#14の3Pで粘り、#10がノータイムで3Pを決めて、54-49とする。
4Q、シュートが決まりだした岐阜は#10、#4の連続3P、#5のジャンプシュートで57-57の同点にする。東京は#12のゴール下や#7の3Pで得点するが、岐阜の勢いは止まらない。岐阜の#5、#13がフリースローを確実に決め、#10のインターセプトから速攻も決まり残り2分には64-68となる。東京は岐阜の激しいプレスディフェンスを攻めあぐみ、2分間で2得点のみ。岐阜はその後#10が4本のスローを決め、最後は#13が速攻でダンクシュートを決め、熱戦に終止符を打った。最後までディフェンスの動きの止まらなかった岐阜が、66-75で逆転勝利を収め、準決勝に進んだ。東京も高さとスピードを武器に力強く戦ったが、相手ディフェンスを攻めきれなかった。

記載責任者 向井 好美 (所属) 岐阜県バスケットボール協会